

ひろか

だより

第379号

令和6年2月1日

発行

弘果 弘前中央青果株式会社

TEL 0172-27-5511

弘果



令和6年

初

市

りんご

津軽市場



弘果青果初市競売の様子

弘果グループ3市場で1月5日、令和6年初市が行われました。各市場とも、生産者、買参人、関係者が多数来場し賑わい、競売前のセレモニーでは、消防団による纏振りや鏡開き、4年振りとなる餅つき、汁粉、雑煮の振る舞い等が行われ、新春のめでたい雰囲気の中、令和6年の取引が幕開けしました。



4年振りに行われた餅つきと汁粉・雑煮振る舞い



弘果りんご初市競売の様子

午前8時00分より行われたりんご初市には、1万3508箱(前年比79・8%)が上場され、生産者約600人、買参

人約200人が来場しました。この日の競売では「サンふじ」上実が高値1万6200円(前年比150・0%)、中値9720円(同150・0%)、安値7560円(同140・0%)となりました。会田一男専務は初市の取引と今後の見通しについて「令和5年産は、春先の凍霜害や猛暑、干ばつ等が生育に大きく影響した結果、上実割合が少なく下位等級品が多くなりまし

午前8時00分より行われた津軽りんご市場初市には、5869箱(前年比94・8%)が上場され、生産者約620名、買参人約70名が来場しました。この日の競売では「サンふじ」上実が高値1万6200円(同150・0%)、中値

9720円(同150・0%)、安値7560円(同140・0%)となりました。対馬智範専務は初市の取引と今後の見通しについて「上位から下位等級品まで高値での取引となりました。その要因として、全国的に品薄状態が青森県産の引き合いが強まったこと、輸出需要の高まりが挙げられます。他県産の切り上がりや輸出での春節需要により、このまま高値基調が続くでしょう」と話していました。



津軽りんご市場初市競売の様子

食味が良いこと、その要因として、全国的に品薄状態が青森県産の引き合いが強まったこと、輸出需要の高まりが挙げられます。他県産の切り上がりや輸出での春節需要により、このまま高値基調が続くでしょう」と話していました。

青果

野菜、国産果実、輸入果実の初市が午前6時30分より行われました。

県内野菜は「ほうれん草」「小松菜」「春菊」「せり」などの葉物や、「生椎茸」「牛蒡」等、県外野菜は「大根」「白菜」「キャベツ」の大型野菜や葉物類が取引されました。暖冬の影響により、野菜の主産地での順調な生育から、

りんご

潤沢な入荷となり、鍋物需要の低さも影響し、荷動きが鈍くなりました。

初市後は、前進出荷の影響で県外産の入荷数量が増加しました。また、県内産は、暖冬の影響で生育が良く、葉物を中心に順調な入荷となっています。県内果実は「スチューベン」と「田舎館いちご」の入荷、県外果実は栃

弘前花き

午前12時より行われた初市では、「菊」「ユリ」「ラン」等の業務用の花をはじめ、「バラ」「カーネーション」等の切り花類、「チューリップ」「スイートピー」等の季節商品が入荷となりました。

木県産「いちご」中心の入荷となり、心の入荷となりました。栃木県産「いちご」は、定植時の高温の影響から植え直しも有り入荷が遅れ、数量減となりました。初市後は、「みかん」が各産地の前進出荷と小玉傾向から入荷減となりました。中旬からは、「ポンカン」をはじめ中晩柑類の入荷が増えています。また、県外「いちご」は、昨年末から1月上旬に出遅れた分が

津軽りんご

出回ることから、いちご全体の価格形成に大きく影響しています。

輸入果実は、「バナナ」「オレンジ」「パイナップル」「グレープフルーツ」が中心の取引となりました。世界的な気候変動や不安定な国際情勢の影響により、産地での生産コスト、日本への輸送コストの上昇、円安による影響で値上がり傾向となり、好転の兆しなく、厳しい販売状況が続いています。

弘前花き

燃料、資材価格の高騰が生産者の経営を圧迫し、採算性等から生産者、生産量も

減少傾向です。販売面においては、コロナ禍も実質明後、冠婚葬祭需要が少しずつ復調しています。全国的に需要の落ち込みを感じています。当社のみならず業界全体が、安定供給、消費の定着、拡大といった課題に対する取り組みを共有し、維持、活性化につなげていきたい」と話していました。



弘前花き初市競売の様子

最大10万円助成！りんご高密度植栽応援事業募集

弘果と津軽りんご市場では、国の果樹経営支援対策事業を活用し、令和7年度にりんご高密度植栽(250本以上/10ア)による改植、新植を計画している生産者の負担軽減を図るため、10アあたり10万円までの支援を行います。申込は令和6年3月末日までとなっております。20人の枠を確保しております。苗木の手配についてもありません。是非この機会に、生産性の向上を目指してりんご高密度植栽に取り組んでみてはいかがでしょうか。

応募の詳細につきましては、弘果、津軽りんご市場共に、同事業担当へお問い合わせください。

りんご高密度植栽とは、早期多収・作業の省力化・栽培管理のしやすさ

同業 QRコード

が期待されている栽培方法です。弘果総合研究開発では5年前から試験栽培を行っており、今年度からは自社モデル園で60アの栽培を開始し、この栽培の優位性実証に取り組んでおります。

高密度植栽の栽培管理につきましては、弘果総合研究開発高密度植栽担当までお問い合わせください。



農業の未来を拓く!

新規就農者



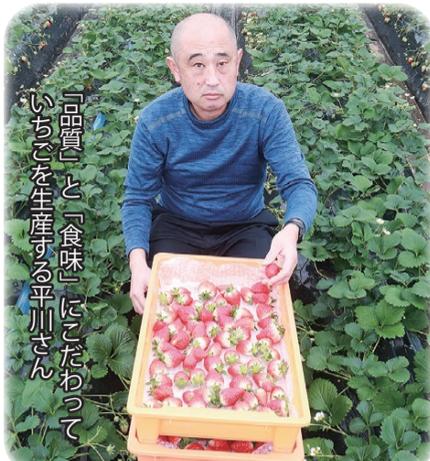
福田一穂さん (25)

【園地所在地】弘前市三和
【作付状況】りんご・65ア
【就農年】2022年
【きっかけ】弘前市出身で実家が農家ではなく、農業とは

縁がない生活を送っていました。そんな中、農業に興味を持つきっかけとなったのは、岩木山麓で40品目の野菜・果物を栽培する農園を見学したことです。自然と共生し、園主自身が原野を自力で開墾してきた畑を目の当たりにして大きな感動を受けました。そしてすぐに行動へ移し、住み込みで農業研修

生としてこの農園で働き始めました。仕事は多岐にわたり、農業に関連する、建設系、機械系等、様々なことを実践してきました。研修の2年とスタッフとして3年の計5年、この農園の仕事で得たものは大きく、自分の農業の礎となっています。やがて農家として独立も視野に入れていた頃、縁があり、現在のりんご園地を紹介いただきました。りんご栽培は本格的に行っていたことはなく、一年を通じた栽培研修を行った後、りんご園を取得し、農家として独立しました。

【座石の銘】「岩木山の見える場所、津軽のかまきり(旬い)を吸って津軽弁を話さなければ上達しない」私の津軽三味線の大師匠(師匠の師匠)である山田千里氏の言葉です。私の師匠である津軽三味線奏者長峰健一氏も農業が本業であり、師匠の生き様は私の人生に大きく影響しています。津軽の風土に根差して生産するりんごや三味線の音から津軽を感じてもらえるように、どちらにも上達に励みます。



田舎館いちご 装い新たに商品力アップ

田舎館いちご研究会が出荷するいちごは、「品質」と「食味」にこだわって「いちご」を生産する平川さん

田舎館いちご研究会が出荷するいちごは、「品質」と「食味」にこだわって「いちご」を生産する平川さん



平川さんは今シーズンの状況について「燃料、資材等の高騰で経営を圧迫している面もありますが、栽培しているいちごは、品質、食味ともに良い仕上がりとなっております。2月からは生産量が増える予定で、2回目の収穫・出荷のピークに向けて、温度の調整等、栽培管理に努めています」と話していました。



売り場で「映(ば)え」る新パッケージ

「いちご」がデザインされたパッケージをまと、青森県内外へ「いちごの産地田舎館」「美味しいいちご田舎館産」を発信し続けています。そして昨年12月には、長年親しまれてきた初代「いちご」デザインがリニューアルされた2代目となり、更なるブランド力向上で販売促進につなげています。

新春剪定勉強会各地区で開催

弘果りんご連絡協議会では浪岡、平賀、中弘、高杉の4地区とヤマセ農園(大紅)と津軽りんご市場連絡協議会では1ヶ所を設け、それぞれ1月上旬に新春剪定勉強会が行われました。高品質なりんご生産に向けた剪定技術向上を目的に、各会場には多くの生産者が来場しました。



栽培の参考にしようと講師の実演を熱心に見る参加者

講師が樹形の方向性や樹勢の調整、作業のしやすさなどを考慮しながら剪定を実演し、参加者は熱心に見入っていました。



2023-2024 シーズンニュース

弘果SRC(スキーレーシングクラブ)の土屋正恵選手、横濱汐莉選手、小林萌子選手が、弘前市の岩木青少年スポーツセンター特設コースで行われた青森県スキー選手権大会へ出場しました。



横断幕と旗を掲げて声援を送る弘果応援団

1月17日(水)	女子10キロフリー	1位 土屋 27分13秒5	2位 横濱 27分14秒4	3位 小林 32分44秒7
1月19日(金)	女子15キロリレー	1位 弘果SRC 32分3秒6	(5人×3人)	

ゴニンカン 弘果カップ 令和6年は開催中止となりました

りんご無冷蔵品等 早期出荷のお願い

弘果りんご部、津軽りんご市場では、「冷蔵品」「無冷蔵品」を区分けして販売しています。消費者の皆様へ鮮度の良いりんごをお届けするため、特に無冷蔵品は、早めの出荷をお願いいたします。

管理を心掛けてください」と話していただきました。今後の勉強会では、各地区においても、葉とらさふじの剪定を進めていく予定です。

大会結果

1月16日(火)
女子3キロクラシカル
成年B1位(総合1位) 土屋 11分44秒8
成年A1位(総合2位) 横濱 11分59秒8
成年A2位(総合3位) 小林 12分43秒6